

和気町教育委員会

【開催年月日】 令和4年4月28日（木）

【召集の場所】 本庁舎 福祉センター 中会議室

午後2時開会

【出席者】 教育長 徳永 昭伸

委 員 安藤 知春

委 員 國友 道一

委 員 有正 省三

委 員 坪井 悠子

【事務局出席者】 太田町長・万代教育次長・森元社会教育課長代理・國定学校教育課長

【付議した議案】 なし

【その他】

- ・令和4年度和気町教育委員会開催日程について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・清麻呂公顕彰事業について
- ・人権意識調査について
- ・令和の日本型学校教育について
- ・その他

審議の記録(一部要約)

開会時刻 午後2時7分開会

徳永教育長 開会挨拶につづき、議事録署名委員に國友委員と有正委員を指名した。

3月31日以降の教育長諸般報告を行った。

【議事】

議事なし

【報告】

徳永教育長 その他の項目について、順次、事務局に報告を求めた。

万代教育次長 令和4年度教育委員会定例会の日程について報告した。また、例年、総合教育会議を8月、12月に実施しており、今年度は教育大綱の見直しを予定していると説明した。

(午後2時33分 太田町長退席)

徳永教育長 意見・質問を求めたが特になく、つづいて「新型コロナウイルス感染症対策について」事務局より報告を求めた。

万代教育次長 岡山県の感染状況と対策、和気町のワクチン接種状況、町主催行事と町有施設利用の方針を説明した。

國定学校教育課長 学校園の状況を報告した。

徳永教育長 報告について意見・質問を求めた。

有正委員 マスクを外せる目処はあるのか。

國定学校教育課長 新年度に入ってから、熱中症対策を優先している。国は学校生活全般においてマスクを外して良いとはいっていない。国の方針では距離がとれないときにはマスクを着用するようになっている。

徳永教育長 特別な活動を除き、引き続きマスクを着用することになっている。陽性者が出た場合にはマスクの着用が濃厚接触者判定の基準になっているので、全ての活動においてマスクを外すことは難しい。その他に意見がないことを確認し、「清麻呂公顕彰事業について」事務局に報告を求めた。

森元社会教育課長代理 B&Gの補助を受け、清麻呂公の漫画本1,550部を作成したと報告した。英語版も付属しており、毎年小学6年生に配布し、郷土学習や調べ学習、オーストラリアとの遠隔交流に利用してもらおうと報告した。

徳永教育長 オーストラリアとの遠隔交流授業の相手校や大使館、カナダのハナ町にも贈っている。

有正委員 史実のはっきりしない人物像については注意が必要である。

森元社会教育課長代理 伝承部分は「このように伝えられています。」と表現し、注意をはらって作成している。

國友委員 現在の発掘状況は。

森元社会教育課長代理 300メートルの道路を新設するにあたり、3年計画により発掘調査を行い、令和3年度は西から100メートルを発掘調査し、今年度は真ん中の100メートルの発掘調査を予定している。東に行くほど埋蔵物の量と柱の跡も大きい物が出ている状況である。

國友委員 和氣清麻呂公政庁跡の史跡等が実際にあれば、より一層子ども達に響く。

森元社会教育課長代理 今年度は発掘現地説明会を開催したいと考えている。

徳永教育長 その他に意見・質問を求めたが特になく、つづいて「人権意識調査について」事務局に報告を求めた。

森元社会教育課長代理 5年毎に実施している人権意識調査結果をまとめた冊子を配付し、前回調査と同じ質問と法務局実施の全国調査とリンクする質問が主な調査内容で、結果をクロス分析したと報告し、分析結果を説明した。

有正委員 そもそも「部落差別を知っているか」との入り口の質問がいるのではと感じた。また、女性の人権問題や子どもの人権問題も大きな課題であり、啓発での切り込み口となる。

森元社会教育課長代理 様々な人権問題があり、それぞれを取り上げていく。

有正委員 人権3法の説明も広報誌で掲載しているのか。

森元社会教育課長代理 法制定時に紹介している。

有正委員 町広報誌での構成も工夫が必要である。もっと興味をひくようにすべきである。

森元社会教育課長代理 社会教育課に任されている箇所なので研究する。

徳永教育長 その他に意見・質問を求めたが特になく、つづいて「令和の日本型学校教育について」事務局に説明を求めた。

國定学校教育課長 新しい学習指導要領について、国の方向性を中央教育審議会答申書の抜粋を用いて説明した。

徳永教育長 国の考え方や方向性を説明させていただいた。学校も実践計画をつくり学校経営

を行っており、学校への指導・支援もこのことを踏まえて実施している。また、皆さんにもコロナがもう少し収まれば現場を見ていただくことも必要と考えている。

有正委員

町の教育を考える10年間程の中期的な計画が必要であると感じた。中身と方法論があるが、どう実現していくかが重要である。毎年、学校長や先生方には中期的視点の中、各学校の改革状況や目標達成に向けた進捗状況をチェックしていただきたい。また、同時に教育委員会として、方針をもって各学校をどう指導していくのか計画と検証結果を教えてください。そういうマネジメントを考える必要があると感じた。

資料には大事なことが多く書かれているが、10項目絞るとすれば何をするのか。そのためにどのような手立てをするのか。予算とか人員配置とかの手段が必要と思う。スローガンとしては分かるが実行するためにはどうするのか、現場の先生方も知りたいのではと思う。今、説明いただいた事を先生方は忙しい中で勉強できないと感じる。全ての先生に町の方針を説明し、一体的に教育改革を進めていくことを理解してもらう必要性を感じている。授業や教室の風景を変えることは大変難しいことである。個に応じた指導を実施するためには、昔ながらの授業では無理である。学校の中にインテリジェンスを取り入れ、テクノロジー変革の現場を応援できるようなことが必要で、これからの教育である。現在は大学生や高校生の起業家が出てきているように世の中も変わってきている。先生の仕事にはインテリジェンスが重視されるような働き方改革も含めた教育変革が必要。

授業を変えるとは具体的に何をするのか。具体的に明示しないと学校現場は困ると思われる。一度には無理なのでスケジュールを立てて行うべきと思う。

徳永教育長

先日の学力調査には、現在求められている学力が反映されている。問題を解くためには教科を問わず読解力や論理的な思考力が必要である。校長にはその点を踏まえて教育実践と授業改善を依頼している。学校はそれぞれの学校課題を踏まえて、学校として取り組む内容をまとめたアクションプランを作成している。それを見ていただき各校の授業の様子を見ていただくことが良いと思う。全ての学校訪問が無理でも皆さんにはアクションプランをお示ししたいと思う。また、PDCAサイクルについても以前から実施している。校長自身も最新の学習指導要領を踏まえたうえでの教育計画を策定している。教員一人一人に力量の差があるのも事実で、これまでどおりの授業をしている教員もいる。授業改善が必要であることは各学校長も認識している。教育委員会も学校訪問を重ね、指導・支援を行う。

國定学校教育課長
國友委員

アクションプランについては、見ていただく機会をつくることを予定している。令和の日本型教育についてであるが、過去の教育は集団を中心に行い、個にはあまり目を向けていなかった。その後、個別最適化で個に目が向くようになった。次に個に重点がいくと孤立化になり、横とのつながりがなくなってしまう。再度、集団を見直すようになっている。そのような流れの中で日本型教育という言葉が生まれたように感じる。言葉に惑わされるのではなく、令和の日本型教育の

- 将来像を和気町の教員は共通理解することが必要である。
- 有正委員 先ほどのプレゼンの中で日本型学校教育の良さを受け継ぐと言われたが、その良さとは何か、資料には書かれていない。
- 國友委員 総論は賛成だが、具体的なことをもっと整理し職員に伝えるべきである。
- 有正委員 全てのことを先生が抱え込むことは無理であり、和気町が考えるスリムな学校とは、オーバーワークにならないような学校とは具体的にどんなカリキュラムなのか。例えば、昼休みの給食指導も食育であるが、一緒に食べることで先生が行い、その後20分ほど食育指導を町の栄養士が行うなど、休憩時間をつくることも必要。また、地域の方に協力してもらおうとか。どう考えてもオーバーワークになる。
- 國定学校教育課長 休憩時間はあつてないようなものが実状である。
- 國友委員 高校では給食時間は休憩時間だったが、義務教育ではそうではないのか。
- 徳永教育長 実はその時間の方がトラブルが発生しやすい時間でもあり、コロナウイルス感染症対策の黙食指導等、これまで以上に教師の負担は増えている。
- 有正委員 例えば、学校にコーディネーターを配置し、その方に地域との連携を担ってもらい、部活動指導、プログラミングや英語といった新しく増えた業務などの講師を仲介してもらおうとか先生方の負担を減らす手立てが必要。
- 國定学校教育課長 新しい〇〇教育というのが、次々増えている。
- 徳永教育長 社会情勢により、主権者教育、納税教育、年金教育等の〇〇教育が生まれている。コーディネーターについては地域連携担当教員を置かないといけなくなっているが、教頭が兼務している。加配とか財源を整備していただきたい。また、地域学校協働本部を利用するようにと言われるがそれも難しい。
- 有正委員 まず最初に授業を変えることが必要と思う。
- 徳永教育長 教員も改善意欲を持つ必要がある。意欲を持つためには変えたことによるメリットを示しながら授業改善を訴えていく必要があると思う。我々も継続的に学校訪問をしているが、私が授業をしていた時と比べて大きく変わっており、ICTを活用した授業ができていると感じている。
- 有正委員 先んじた部分が和気にはあるのだから、それを広げてほしい。
- 國友委員 高校にALTが導入された時に、英語の授業は「読み・書き」から「聞いて話す」に換わり、時代の変化に英語教師はついていくのが大変であったが、それと同様なことが全教科に起きている。
- 國定学校教育課長 変わるときには一定の負荷がかかるものであり、それでも授業改善をしようと思っただけのもの示さないといけない。
- 有正委員 和気町のALTは子どもとよくふれあっているのか。
- 徳永教育長 英語以外の時間でもふれあいを大事にしている。また、ALT自身も自分たちが授業をするという意識を持っていただいている。
- 有正委員 ALT単独では授業できないのか。
- 徳永教育長 英語の免許が必要なのでそれは無理である。
- 有正委員 授業改革という意味では英語が一番進んでいるのか。
- 國定学校教育課長 一概にそういうことではない。

有正委員 そのためどうか考えないといけない。

國定学校教育課長 端末の活用も含め、良い事例を共有しながら指導はしている。

有正委員 ソフトも十分揃えていただき、また家庭でのネット活用も進めていただい
 っており、良いことと思う。

徳永教育長 前回ご指摘をいただいた「令和の日本型学校教育」について、国の流れを踏
 まえて説明をさせていただいた。次は、実態として学校訪問を考えている。

万代教育次長 次回教育委員会の開催を5月31日（火）午後2時から開会とした。

徳永教育長 閉会挨拶にて散会。

閉会時刻 午後4時13分

議事録署名

委	員	國友	道一	
委	員	有正	省三	
教	育	次	長	万代 明 